

“高き志”をもったグローバルな 「新トップエリート」を育てる教育を実践

西武学園文理小学校

21世紀も早や15年が過ぎ、グローバル化の波はいよいよ教育界にも押し寄せてきました。2011年4月から実施された「新学習指導要領」でも「外国語活動」の導入が注目を集めました。こうした流れに先立って、「英語のシャワーで世界のトップエリートを育てる」をキャッチフレーズに、開学以来、先端的な教育を展開しているのが西武学園文理小学校です。

しかし、同校の特徴は英語教育にとどまるものではありません。全教科にわたってバランスの取れた教育を実践していることはもちろん、「五感を通じた環境の中で言葉や数字、正しい礼儀作法に触れさせる」ことにより、確かな学力と創造性、プレゼンテーション力を養うとともに、真の日本文化を理解するための優れた教育も行っているのです。「世界のトップエリート」の育成を目指す、西武学園文理小学校の「魅力」をご紹介します。

国際競争が激化し、本格的なグローバル時代を迎えた今日、次世代を担う子どもたちが将来、あらゆるシーンで世界の人々と対等に伍していくには、深い思考力と的確な判断力、そして相手を説得できる表現力を養うことが不可欠です。

2009年に経済協力開発機構（OECD）が実施した国際学習到達度調査（PISA）の中で、日本は「数学的リテラシー」が65か国・地域中9位、「読解力」が同8位、「科学的リテラシー」は同5位にランクされました。一時の低迷期を脱したとはいえ、依然として厳しい結果であることに変わりはありません。

こうした状況を鑑み、文部科学省では2011年度から小学校で完全実施される新学習指導要領において、5・6年生対象の「外国語活動」を含め、「PISA型学力」を育成するカリキュラムを本格的に始動させました。

しかしながら、日本の教育の問題点にいち早く気づき、すでに11年も前から先端的な教育を独自の建

学理念のもと、力強く実施してきた小学校があります。それが、「英語のシャワーで世界のトップエリートを育てる」をキャッチフレーズに、2004年4月に開校した西武学園文理小学校です。

小・中・高12年一貫教育による 洗練されたカリキュラムデザイン

西武学園文理小学校が展開する「トップエリート教育」のねらいは、グローバル社会の中でリーダーシップを発揮できる“真のエリート”レディー&ジェントルマンを、小・中・高の12年一貫教育の中で育成することにあります。

小・中・高一貫教育の最大のメリットは、各学校の連携による効率的な学習の流れを作ることにあります。特に、小学校から中学校への接続では、教科の名称が変わり難易度が高くなる、専科制になって子どもたちと教員の関係が変わるなど、子どもたちの負担が

とても大きくなっています。西武学園文理小中高では、12年間の成長に合わせた学習効果の高いカリキュラムデザインを構築しています。

例えば、同校の掲げる特色の一つである「英語教育」について見てみましょう。

ベースとなる英語の授業に加え、「文理式イメージング授業」という、音楽や図工・体育の教科をできる限り英語で実施する独自のカリキュラムにより、子どもたちの英語力は無理なく高められています。それは、同校には小学校在学中に英検3級以上を全員が取得、準2級、さらには2級までをも取得している児童が低学年にも数多くいることからもうなずけます。

しかし、同校の国際教育の最終的な目標は、単なる「語学力の向上」にあるわけではありません。グローバル社会を早期から意識した、真の「コミュニケーション力の養成」にあるのです。

例えば、児童に英語でのコミュニケーション力向上

と異文化を体験させる「海外研修」では、5年時にイギリス短期留学、6年時にはアメリカ研修と、2年続けての海外研修を実施。そこでは英語でのプレゼンテーションを通して現地の学校と交流するなど、小学生の域をはるかに越えた活動をしています。アメリカ研修では、ハーバード大学やMITの教授からレクチャーを受けるなどBUNRIの海外研修ならではの体験機会を与えています。

プレゼンテーション力を育成 国際舞台での活躍をめざす

「PISA型学力」が世界標準となった今日において、知識をいかに多く身につけるかが重要とされる時代は終わりました。大切なのは課題を発見し、問題解決のための知識を選択する力と、その知識を活用し、自らの頭脳で考え、行動に移す力です。

同校ではまず低学年において、学ぶことの「楽しさ」



創立者／理事長
佐藤 英樹

平成16年4月に開校して以来、「英語のシャワーで世界のトップエリートを育てる」教育を続け、世界に向かって着実に歩んでまいりました。

西武学園文理小学校は「すべてに誠をつくし、最後までやり抜く強い意志を養う」教育方針のもと、「心を育てる」「知性を育てる」「国際性を育てる」ことを重点目標として教育実践を行っています。

人としての豊かな心、先人の知恵に学び創造する知性、日本人としてのアイデンティティをもって国際社会で活躍する力、これらすべてを身に付けて未来をリードすることができる人材＝世界のトップエリートの育成を目指しているのです。

子どもたちが将来、自分の能力を活かす場を世界に求め、グローバルに活躍できる力を身につけられるよう、学ぶ力を習慣化し、常に自らを進化させる意欲をもつよう指導し、保護者の期待や社会的要請に応えていくのが、西武学園文理小学校です。



小学校 校長
伊藤 邦義

私は、本校の3つの教育の柱である“心を育てる教育”、自ら考え・発信する“知性を育てる教育”、そして“国際性を育てる教育”、これらをバランスよく身につけることが、これからの国際社会でリーダーシップをとっていくためにとても大切だと考えております。

文理小学校では、5年生でイギリス短期留学、6年生でアメリカ研修を実施します。文理生は会話力だけでなく、感謝や優しさのこもったコミュニケーション力、プレゼンテーション力や知力、そして人間性にもおよぶバランスの良い国際人としての一員に着実に育っていることをいつも実感いたします。このような点から、本校の教育方針に改めて確信をもち、この道を力強く歩いていくことが、大切であると確信するのです。

その思いで、22世紀を見据えて文理中学・高等学校に続く、12年一貫教育の中で、お預かりした文理生一人ひとりの夢を実現するために、常に愛情を注ぎこみ、世界のトップエリートとして育てていこうと考えております。

皆様が文理小学校にご入学されることを心よりお待ちしております。



アメリカ研修（ハーバード大学にて・上）／
イギリス短期留学（バッキンガム宮殿前にて・下）

を体感させるために田植え、稲刈りや工場、商店街見学などの体験学習を多く取り入れています。そして、体験したことについては必ず記録にまとめたり、感じたことを書かせたりして、体系的な知識になるよう指導しています。また、本物の教育を目指しさまざまな分野のプロをお招きしてお話し等いただく特別講義も実施しています。

教室ではコンピューター、プロジェクター、電子黒板を使用した独自の教材による授業も実施し、100%理解を目指しています。英語、情報の授業は1年生から6年生まで継続し、大きな成果を挙げています。

さらに、例えば算数では3年生から単元別に得意・不得意を考慮してクラスを編成した授業を実施するなど、全教科にわたって児童のモチベーションの向上に細心の注意を払っています。

高学年になると、各教科の専科教員による授業を多く配し、中学校への接続に配慮した、より高度な学習の段階に入ります。そして、自ら考え表現する力を養成するため、5・6年の2年間にわたって自ら設定した課題を研究する「卒業研究」を完成させます。「卒業研究」では①課題の設定②調べる③考える④まとめる⑤発表する、という過程を2年間かけて進め、グローバル時代でも必要とされる「思考力」「プレゼンテーション力」を養っていきます。

言い換えるなら、ここで展開されているのは「世界標準」のまったく新しい教育なのです。

小中高一貫で進む国際教育 世界のトップエリート教育

国際社会でリーダーシップを発揮できる人材となるためには、まず日本人としてのアイデンティティを確立させる必要があります。そのために、西武学園文理小学校では日本の伝統的な文化を正しく理解させることを重視し、礼儀・作法、マナーのほか、日本人として本来身につけるべきことの教育を実践しています。さらに、両親、祖父母、家族への感謝を育み、縦割り活動を重視し、思いやりの心を育てています。また、他国の児童・生徒との交流を通じて、諸外国の文化理解と国際社会に対する広い視野を持つよう指導しています。

冒頭でも述べたように、西武学園文理小学校では小中高12年一貫教育を目指しており、小学校卒業後は一定の基準を満たしていれば西武学園文理中学校に進学します。中学では1年生から超難関国立大学・医学部への現役合格を目指す「特別選抜クラス」をはじめとした学力別クラス編成を整備。学力差がつきやすい英語や数学の授業は2クラス3分割という少人数で行うなど、きめ細かな指導により、将来の目標に合わせた「確かな実力」を養っています。

“とことん”学び、楽しみ、学園生活を満喫する「文理流」教育。この学舎（まなびや）から、次代を担う世界のトップエリートが続々と輩出されることが大いに期待されます。

西武学園文理高等学校の進学実績（平成28年度）

国公立大学／東京大学25年連続合格達成！国公立大学医学部6名合格！

東京大学1（25年連続合格）、北海道大学1、東北大学2、名古屋大学1、九州大学2、一橋大学1、東京工業大学1、広島大学1、東京外国語大学3、お茶の水女子大学3、国際教養大学3、山形大学（医）1、筑波大学4（医1）、愛媛大学（医）1、高知大学（医）1、長崎大学2（医1）、福島県立医科大学1 他多数

医・歯・薬・獣医・看護系学部／国公立大学医学部6名合格！

私立大学医学部23名合格！ 医・歯・薬・獣医・看護系学部100名合格！
山形大学（医）1、筑波大学（医）1、愛媛大学（医）1、高知大学（医）1、長崎大学（医）1、福島県立医科大学1、東京慈恵会医科大学（医）2、昭和大学（医）3、東邦大学（医）2、日本大学（医）2、杏林大学（医）1、北里大学（医）2、順天堂大学（医）1 他多数

難関私立大学／慶應義塾大学18、早稲田大学30、上智大学9、中央大学54、明治大学58、立教大学46、青山学院大学36、法政大学85、国際基督教大学2、東京理科大学30 他多数